

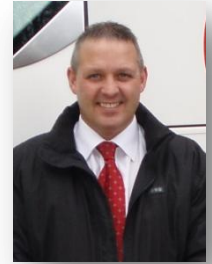
# 旅行記 エジンバラ 3月14日

江黒 真琴

イギリスで迎えた最初の朝、ホテルで長旅の疲れをとり、メンバー全員これから始まる現地での活動に期待を膨らませていました。

この日のスケジュールはエジンバラ市内見学。

運転手のブライアンさんとともにまずはカールトンヒルへ向かいます。強風でしたが天気にも恵まれ、国民記念碑をはじめ数々の歴史的建造物を見ることができました。カールトンヒルまでがバスでの移動だっただけに、冷たい空気が心地よかったです。



ブライアンさん

エリザベス2世の夏季の滞在地として使用されているホリールド宮殿でお土産の時間をとりました。前日空港で買い物をしたので、皆店員とのやり取りにも自信がついてきたようです。しかし自信はついてもイギリスで自分の英語が通じる感動というのは尽きないものです。皇室の方が使用するというトイレにも入りました。いよいよエジンバラ城へ向け、ロイヤルマイルでの自由行動が始まります。



入れるのは門の前まで…



お土産を買う榎嶋君



老舗のパブや教会、お土産屋が並ぶロイヤルマイルは人通りが多く、加えてラグビーの六カ国対抗がこの日行われるということでラグビーファンも押し寄せていました。周りを見渡せば二階建てバスと外国人が沢山…。古風な街並みと日本にはない造りの建物にも囲まれ、改めて「外国」を意識しました。

中でもキルトのスカートを身に付けた男性に目を引かれました。スコットランドの伝統衣装ということは知識として知っていても、実際にスカートを履いている男性が自分のわきを通りぬけていく瞬間は何とも不思議なものでした。



自由行動のうえにお土産屋が軒を連ねるロイヤルマイルでは皆ショッピングを満喫していました。ここでよく聞いた声は「ついお札を出してしまい、お財布がパンパン」というものでした。小銭とお札の価値の大きさがまだうまく掴めずとりあえずお札を出してしまうので、おつりの小銭の量がとても多くなってしまいうことです。

はっきりとここが違うと指摘できるわけではなく、しかしすべてが少しずつ日本と違うという奇妙な感覚は実際に外国へ行かないと決してわかりません。



スコットランドチームの応援者



アイルランドチームの応援者。ナショナルカラーは緑

エジンバラ城に到着した一行。まずは城の前で記念撮影です。入場チケットの絵柄はランダムで、そのまま記念で持ち帰ることができました。エジンバラ城は岩山の上に立つ要塞で、本物の大砲までありました。午後1時になると城の大砲が鳴り、時刻を知らせてくれます。ちなみに日曜は行われなそうです。幸いにも午後1時前に到着した私たちは大砲の音を聞くことができました。



風の強いエジンバラ城の伝説の中に、兵士が突風に吹き飛ばされて城の壁にたたきつけられ、死んでしまったというものがあるとガイドの田村さんがおっしゃっていました。にわかには信じられない話ですが、思わず「あるかも」と思ってしまうほど本当に風が強かったです。荷物が飛ばされたというメンバーがいなくて本当によかった…。



田村さん

メインとなるエジンバラ市内見学は目立った事件もなく無事に終了することができました。イギリスの空気を直に感じ、一人ひとりが確実に何かを感じたことでしょう。



エジンバラ城を散策する一行